

第221回全経簿記上級 受験生の皆さまへ

日商簿記検定1級
2026年6月合格目標

対象 1級学習経験者

1級直前対策パック (全30回)

再チャレンジ・独学
の方にオススメ

効率的なカリキュラムで合格へと導く
1級学習経験者向けコース!

出題頻度の高い重要論点を中心に教材の習熟度を上げる「直前対策講義」。本試験に即した問題で答案練習をする「直前模擬試験」、「全国統一公開模擬試験」。直前対策パックはこの3つがセットになり、合格に必要な実力を段階的に養うコースです。

1 比較してください!
大原なら

Web講義標準装備

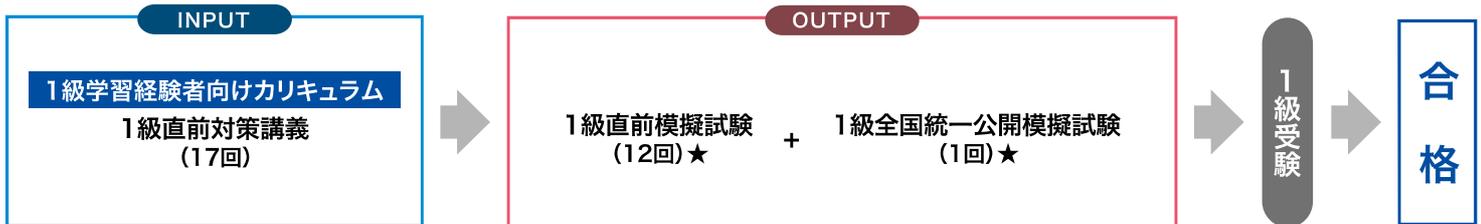
すべての受講スタイルにWeb講義が付いているので、予習・復習、欠席フォローも安心!

2 比較してください!
大原なら

質問可能

来校(通学生)・電話(通学生・通信生)
・質問フォーム(通信生) ※回数:35回

カリキュラム



★映像通学生 教室振替可(通信生は全国統一公開模擬試験のみ教室聴講可。)

受講料等 (消費税10%込)

学習スタイル		一般価格	教材発送開始日・開講日等	受講期間
通信	Web通信	81,100円	お申込後随時発送	お申込みの 受験対策検定 試験日まで
	Webライブ	99,000円	2/14(土)より開講 ※途中入学可能	
通学	映像通学	99,000円	お申込後随時視聴	
	教室通学		東京水道橋校にて 2/14(土)より開講 ※途中入学可能	



HP講義
日程表

各学習スタイル付随の共通サービス等

Web講義標準装備

欠席フォロー等に活用。講義動画をWeb視聴できます。

問題集解説動画Web視聴

ALFA問題集の解説動画をWeb視聴できます。

解答用紙ダウンロードサービス

ALFA問題集の解答用紙をWebからダウンロードできます。

コースの詳細は、大原ホームページをご覧ください

← クリック

資格の大原 就職の大原

■詳しい資料を無料でお届けします

https://www.o-hara.jp/contact/document_request/form

全経上級解答速報

模範解答および採点基準は、学校法人大原学園が独自の見解で作成しており、試験機関による本試験の結果等について保証するものではありません。また、予告なしに内容を変更する場合があります。模範解答等の著作権は学校法人大原学園に帰属します。

全経上級商業簿記模範解答

問題 1

	勘定科目	金額	勘定科目	金額	
問1	(g)	32,000,000	(f)	12,200,000	⑥
	()		(i)	10,100,000	
	()		(a)	9,700,000	
	(d)	32,000,000	(g)	32,000,000	
	(c)	48,000,000	(e)	48,000,000	
問2	(g)	32,000,000	(f)	12,200,000	⑥
	()		(i)	10,100,000	
	()		(a)	9,700,000	
	()		()		
	()		()		
問3	(g)	32,000,000	(f)	12,200,000	⑥
	()		(i)	10,100,000	
	()		(a)	9,700,000	
	(d)	32,000,000	(g)	32,000,000	
	(c)	32,000,000	(e)	32,000,000	
問4	(g)	32,000,000	(f)	12,200,000	⑤
	()		(i)	10,100,000	
	()		(a)	9,700,000	
	(d)	32,000,000	(g)	32,000,000	
	(c)	62,000,000	(e)	62,000,000	
問5	(g)	32,000,000	(f)	12,200,000	⑤
	()		(i)	10,100,000	
	()		(a)	9,700,000	
	(d)	60,000,000	(g)	60,000,000	
	(c)	90,000,000	(e)	90,000,000	

問題2

損 益 (単位:円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	[④ 123,920]	売上	142,600
給料	[④ 3,540]	受取利息	40
広告宣伝費	[④ 100]	有価証券利息	[④ 145]
支払利息	[④ 120]		[]
社債利息	[521]		[]
為替差損益	[④ 455]		[]
貸倒引当金繰入	[④ 1,024]		[]
減価償却費	[1,000]		[]
減損損失	[④ 1,100]		[]
法人税等	[500]		[]
繰越利益剰余金	[④ 10,505]		[]
	[]		[]
合計	[142,785]	合計	[142,785]

閉鎖残高 (単位:円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	13,400	買掛金	3,700
当座預金	17,600	長期借入金	3,000
受取手形	[3,300]	預り保証金	2,600
売掛金	[④ 3,140]	社債	10,000
繰越商品	[④ 31,080]	貸倒引当金	[1,284]
建物	[38,900]	建物減価償却累計額	[④ 13,000]
外貨建満期保有目的債券	[3,780]	資本金	40,000
その他有価証券	[④ 3,300]	資本準備金	19,000
長期貸付金	2,000	その他資本剰余金	[④ 0]
社債発行差金	[④ 479]	利益準備金	4,800
破産更生債権等	[④ 3,800]	繰越利益剰余金	[22,575]
前払広告宣伝費	[20]	その他有価証券評価差額金	[④ 130]
	[]	未払利息	[70]
	[]	未払給料	[340]
	[]	未払法人税等	[④ 300]
	[]		[]
合計	[120,799]	合計	[120,799]

全経上級財務会計模範解答

問題 1

	正誤	理 由
1.	× ②	最善の見積りによる金額を超えて予想される最高額とするなど、過度に保守的な会計処理を行うことは認められない。④
2.	○ ②	
3.	○ ②	
4.	× ②	すべての識別可能資産及び負債が把握されているか、また、それらに対する取得原価の配分が適切に行われているかどうかを見直す必要がある。④
5.	× ②	業績連動型報酬として支給される役員報酬及び役員賞与についても、職務執行の対価と考えられるため、いずれも発生時の費用として処理する。④
6.	× ②	その他資本剰余金の残高が負の値となった場合には、会計期間末において、その他資本剰余金を零とし、当該負の値をその他利益剰余金（繰越利益剰余金）から減額する。④
7.	○ ②	
8.	× ②	親会社による株式の取得後に生じた資本に属する項目については、当該項目の発生時の為替相場による円換算額を付する。④
9.	○ ②	
10.	○ ②	

問題 2

問 1

保有目的区分を厳格にすることにより判断の恣意性を排除することとしているため、正当な理由なく、取得当初の
保有目的区分を取得後に変更することは認められない。 ⑦

問 2

債券の価格が減損処理を必要としない程度に急落した場合に、当該損失を秘匿する意図で変更される恐れがあるため、
債券を他の保有目的区分から満期保有目的の債券の区分に変更することは禁止されている。 ⑦

問 3

1)	償還期限前に売却を行った場合は、満期保有目的の債券に分類された残りのすべての債券について、保有目的の変更があったものとして売買目的有価証券又はその他有価証券に振り替えなければならない。 ④
2)	保有目的の変更を行った事業年度を含む 2 事業年度においては、取得した債券を満期保有目的の債券に分類することはできない。 ④

問 4

変更後保有区分 変更前保有区分	売買目的有価証券	子会社株式・関連会社株式	その他有価証券
売買目的有価証券		A ①	B ①
子会社株式・関連会社株式	A ①		A ①
その他有価証券	B ①	A ①	

問 5

変更後保有区分 変更前保有区分	売買目的有価証券	子会社株式・関連会社株式	その他有価証券
売買目的有価証券		Y ①	Y ①
子会社株式・関連会社株式	X ①		X ①
その他有価証券	Y ①	X ①	

問題 3

問 1

		計算スペース
親会社持株比率	60 ④ %	4,000 株 × 75% = 3,000 株 (増資前親会社保有株式数) 4,000 株 × 25% = 1,000 株 (増資前非支配株主保有株式数) 3,000 株 ÷ (4,000 株 + 1,000 株) × 100 = 60%
非支配株主持株比率	40 ④ %	(1,000 株 + 1,000 株) ÷ (4,000 株 + 1,000 株) × 100 = 40% ②

問 2

			計算スペース
親会社持分 増減額	増加 減少	60,000 ④ 円	@300 円 × 1,000 株 = 300,000 円 (増資額) (1,000,000 円 + 300,000 円 + 200,000 円 + 400,000 円) × 60% - (1,000,000 円 + 200,000 円 + 400,000 円) × 75% = △60,000 円
非支配株主持分 増減額	増加 減少	360,000 ④ 円	(1,000,000 円 + 300,000 円 + 200,000 円 + 400,000 円) × 40% - (1,000,000 円 + 200,000 円 + 400,000 円) × 25% = 360,000 円 ②

問 3

増減額を計上する 財務諸表の項目	資本剰余金 ②
根拠	支配獲得後、支配を喪失する結果とならない親会社の持分変動（非支配株主との取引）は資本取引とされていることから、親会社の持分増減額は資本剰余金とする。 ④

全経上級原価計算模範解答

問題 1

問 1 正常減損費 [⑤ 1,372,000] 円

問 2 月末仕掛品原価 [⑤ 2,940,000] 円

当月完成品原価 [⑤ 10,831,500] 円

計算過程

$$(1,695,000 + 8,385,000) \div 1,800 \times 400 = 2,240,000$$

$$(375,300 + 3,404,700) \div 1,500 \times 200 = 504,000$$

$$1,372,000 \div 1,400 \times 200 = 196,000$$

$$2,240,000 + 504,000 + 196,000 = 2,940,000$$

$$1,695,000 + 8,385,000 + 375,300 + 3,404,700 - 2,940,000 - 88,500 = 10,831,500$$

問 3 等価係数 A連産品 : B連産品 = 1 : [⑤ 0.2]

問 4 月末仕掛品原価 [⑤ 2,940,000] 円

当月完成品原価 [⑤ 10,920,000] 円

問 5 A連産品 [⑤ 9,555,000] 円

B連産品 [⑤ 1,365,000] 円

問 6

そのまま売却できるものは、見積売却価額から販売費及び一般管理費や利益の見積額を控除した額。

なお、加工のうえ売却できる場合には加工費の見積額も控除する。

そのまま自家消費されるものは、これにより節約されるべき物品の見積購入価額。なお、加工のうえ

自家消費されるものは、加工費の見積額も控除する。

問題 2

問 1

残業手当などの割増賃金	⑩
-------------	---

問 2

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
賃 金	11,560,000	社会保険料預り金	1,734,000
諸 手 当	560,000	所得税等預り金	1,950,000
		現 金	8,436,000

⑩

問 3

予定賃率 [2,180] 円/時間 ⑤

賃率差異 [133,200] 円 不利差異の場合は金額の前に△を付すこと ⑤

問 4

賃 金			
②	(諸 口) [11,560,000]	(未 払 賃 金) [2,660,000]	②
②	(賃 率 差 異) [133,200]	(仕 掛 品) [7,891,600]	②
	(未 払 賃 金) [2,780,000]	(製 造 間 接 費) [3,921,600]	②
	() []	() []	

問 5

原価差異は、材料受入価格差異を除き、原則として当年度の売上原価に賦課する。材料受入価格差異は、
当年度の材料の払出高と期末在高に配賦する。
予定価格等が不適当なため、比較的多額の原価差異が生じた場合には、当年度の売上原価と期末における
棚卸資産に配賦する。

⑩

全経上級管理会計模範解答

問題 1

問 1

製品A [④ 1,500] 円/個 製品B [④ 4,800] 円/個
製品C [④ 7,500] 円/個

問 2

損益分岐点の売上高 [④ 1,250,000,000] 円
安全余裕率 [④ 20] %
経営レバレッジ係数 [④ 5]

問 3

製品A [④ 1,000] 円/個 製品B [④ 5,000] 円/個
製品C [④ 7,750] 円/個

問 4

損益分岐点の売上高 [④ 1,397,480,000] 円

問 5

目標税引前当期純利益 [④ 130,000,000] 円
目標営業利益 [④ 132,912,500] 円
目標売上高 [④ 1,643,500,000] 円

問 6

投下資本利益率 [④ 24.1] %

問題 2

問 1

製品A [③ 46,875] 円／個 製品B [③ 50,000] 円／個
 製品C [③ 100,000] 円／個

問 2

段取活動 [② 5,940,000] 円
 加工活動 [② 13,020,000] 円
 検査活動 [② 3,460,000] 円
 管理活動 [② 2,580,000] 円

問 3

製品A [③ 36,440] 円／個 製品B [③ 98,800] 円／個
 製品C [③ 120,560] 円／個

問 4

(② ユニット) レベル活動 (② バッチ) レベル活動
 (② 製品) 支援活動 (② 施設) 支援活動

問題 3

原価センター：	
組織単位の責任者が原価の発生についてのみ責任を持つ組織単位。	⑤
利益センター：	
組織単位の責任者が原価のみでなく収益についても責任を持つ組織単位。	⑤